

1. (1) ユークリッドの互除法により

$$197 = 92 \cdot 2 + 13$$

$$92 = 13 \cdot 7 + 1$$

よって $1 = 92 - 13 \cdot 7 = 92 - (197 - 92 \cdot 2) \cdot 7 = 92 \cdot 15 + 197 \cdot (-7)$

$92x + 197y = 1$ から $92 \cdot 15 + 197 \cdot (-7) = 1$ ……①を引くと

$$92(x-15) + 197(y+7) = 0 \quad \text{すなわち} \quad 92(x-15) = -197(y+7)$$

92 と 197 は互いに素であるから、 $92x + 197y = 1$ の整数解は、 n を整数として

$$x = 197n + 15, \quad y = -92n - 7$$

$n = 0$ のとき、 x の絶対値は最小となる。

このとき $x = \overset{\text{アイ}}{15}, \quad y = \overset{\text{ウエ}}{-7}$

また、①の両辺を10倍して $92 \cdot 150 + 197 \cdot (-70) = 10$

$92x + 197y = 10$ からこれを引くと $92(x-150) + 197(y+70) = 0$

すなわち $92(x-150) = -197(y+70)$

92 と 197 は互いに素であるから、 $92x + 197y = 10$ の整数解は、 k を整数として

$$x = 197k + 150, \quad y = -92k - 70$$

$k = -1$ のとき、 x の絶対値は最小となる。

このとき $x = \overset{\text{オカキ}}{-47}, \quad y = \overset{\text{クケ}}{22}$

(2) $11011_{(2)} = 1 \cdot 2^4 + 1 \cdot 2^3 + 0 \cdot 2^2 + 1 \cdot 2^1 + 1 \cdot 2^0 = 1 \cdot 2^4 + (2+0) \cdot 2^2 + (2+1) \cdot 2^0$
 $= 1 \cdot 4^2 + 2 \cdot 4^1 + 3 \cdot 4^0 = \overset{\text{コサン}}{123}_{(4)}$

また⑩～⑮の6進法の小数を10進法で表すと次のようになる。

⑩ $0.3_{(6)} = 3 \cdot \frac{1}{6} = \frac{1}{2} = 0.5$ ⑰ $0.4_{(6)} = 4 \cdot \frac{1}{6} = \frac{2}{3}$

⑪ $0.33_{(6)} = 3 \cdot \frac{1}{6} + 3 \cdot \frac{1}{6^2} = \frac{7}{12}$ ⑱ $0.43_{(6)} = 4 \cdot \frac{1}{6} + 3 \cdot \frac{1}{6^2} = \frac{3}{4} = 0.75$

⑫ $0.033_{(6)} = 3 \cdot \frac{1}{6^2} + 3 \cdot \frac{1}{6^3} = \frac{7}{72}$ ⑲ $0.043_{(6)} = 4 \cdot \frac{1}{6^2} + 3 \cdot \frac{1}{6^3} = \frac{1}{8} = 0.125$

よって、有限小数として表せるのは $\overset{\text{ス、セ、ソ}}{\text{⑩, ⑱, ⑲}}$

別解 ⑩, ⑲は次のようにも計算できる。

⑩ $0.033_{(6)} = 0.33_{(6)} \times \frac{1}{6} = \frac{7}{12} \cdot \frac{1}{6} = \frac{7}{72}$

⑲ $0.043_{(6)} = 0.43_{(6)} \times \frac{1}{6} = \frac{3}{4} \cdot \frac{1}{6} = \frac{1}{8} = 0.125$

参考 一般に、10進数の整数でない既約分数 $\frac{m}{n}$ について、次のことが成り立つ。

分母 n の素因数は2, 5だけからなる $\iff \frac{m}{n}$ は有限小数で表される

分母 n の素因数に2, 5以外のものがある $\iff \frac{m}{n}$ は循環小数で表される

2. (1) $a = 407 = 11 \times 37$

$$b = 481 = 13 \times 37$$

したがって、 a と b の最大公約数は $\overset{\text{アイ}}{37}$

最小公倍数は $11 \times 13 \times 37 = \overset{\text{ウエオカ}}{5291}$

$$\sqrt{abc} = \sqrt{407 \times 481 \times c} = \sqrt{(11 \times 37) \times (13 \times 37) \times c} = 37\sqrt{11 \times 13 \times c}$$

\sqrt{abc} が整数となる正の整数 c の中で、最小のものは

$$c = 11 \times 13 = \overset{\text{クケ}}{143}$$

参考 407 と 481 の最大公約数は、ユークリッドの互除法を用いて求めることもできる。

$$\begin{array}{r} 2 \quad 5 \quad 1 \\ 37 \overline{) 74} \overline{) 407} \overline{) 481} \\ \underline{74} \quad \underline{370} \quad \underline{407} \\ 0 \quad 37 \quad 74 \end{array}$$

(2) 不定方程式 $407x = -481y$ の両辺を37で割ると $11x = -13y$

11 と 13 は互いに素であるから、 y は 11 の倍数である。

よって、 k を整数として、 $y = \overset{\text{スセ}}{11k}$ と表される。ゆえに $11x = -13 \cdot 11k$ したがって $x = \overset{\text{コサン}}{-13k}$

(3) 不定方程式 $407x + 481y = 40700$ を37で割ると $11x + 13y = 1100$

よって $11(x-100) = -13y$

(2) より $x-100 = -13k, \quad y = 11k$ (k は整数) すなわち $x = 100 - 13k, \quad y = 11k$

x, y がともに0以上の整数のとき $100 - 13k \geq 0, \quad 11k \geq 0$

よって $0 \leq k \leq \frac{100}{13} = 7 + \frac{9}{13}$ この不等式を満たす整数 k の値は $0, 1, \dots, 7$ の8個ある。

k の1つの値に対して x, y の組は1組定まるから、 $ax + by = 40700$ を満たす0以上の整数 x, y の組は

$\overset{\text{ソ}}{8}$ 組 この中で x が最も小さいものは、 $k=7$ のときで $x = 100 - 13 \cdot 7 = \overset{\text{タ}}{9} \quad y = 11 \cdot 7 = \overset{\text{チツ}}{77}$

不定方程式 $407x + 481y = 40700 + 37$ の両辺を37で割ると $11x + 13y = 1100 + 1$ ……①

また、 $x=6, y=-5$ は不定方程式 $11x + 13y = 1$ を満たす整数である。

すなわち $11 \cdot 6 + 13 \cdot (-5) = 1$ ……②

①-②より $11(x-6) + 13(y+5) = 1100$

よって $11(x-106) = -13(y+5)$

(2) より $x-106 = -13k, \quad y+5 = 11k$ (k は整数)

ゆえに $x = 106 - 13k, \quad y = 11k - 5$

x, y がともに0以上の整数のとき $106 - 13k \geq 0, \quad 11k - 5 \geq 0$ よって $\frac{5}{11} \leq k \leq \frac{106}{13} = 8 + \frac{2}{13}$

この不等式を満たす整数 k の値は $1, 2, \dots, 8$ の8個ある。

k の1つの値に対して x, y の組は1組定まるから、 $ax + by = 40700 + 37$ を満たす0以上の整数 x, y の組は

$\overset{\text{ハ}}{8}$ 組 この中で x が最も小さいものは、 $k=8$ のときで $x = 106 - 13 \cdot 8 = \overset{\text{ト}}{2} \quad y = 11 \cdot 8 - 5 = \overset{\text{ナニ}}{83}$

参考 $(11x + 13y = 1)$ の整数解の見つけ方

$11x + 13y = 1$ より $11x + (11y + 2y) = 1$

よって $11(x+y) + 2y = 1$

$x+y=1, y=-5$ はこの等式を満たす。

すなわち $x=6, y=-5$